

ご長寿おめでとうございます 野村ツキノさんが満100歳に

4月27日満100歳の誕生日を迎えられた野村ツキノさんのもとに松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。

野村さんは、昔から嫌いなものはなく何でも食べていたとのこと、今でも健康状態は良好で大きな病気も無く、元気に過ごされているそうです。

以前からよく「今が一番幸せだ」と話していたそうで、戦争という大変な時代を生きてきたこともあったためか、常にその時々を大事に過ごされてきたということでした。毎日を楽しんで生活していることが、長寿の秘訣かもしれません。



歌声と音色が響き渡りました 夜桜ジャズまつり

4月29日に美郷町中央公園で夜桜ジャズまつりが今年も開催され、県内外から集まった約30名の演奏者が、さまざまな楽曲を披露しました。会場ではたくさんの観客が、各々のスタイルでくつろぎながら素晴らしい音楽に酔いしれました。



美郷の農産物を全国へ ごはんの教室&農業体験のすすめ

5月8日と9日に東京都大田区で「ごはんの教室&農業体験のすすめ」が開催されました。秋田県五つ星お米マイスターである篠木郁子さんが美郷米をおいしく炊くコツを伝えるため、品種の違いや洗米のしかた等の講義を行いました。最後には美味しそうに炊き上がったごはん和美郷産農作物を使ったご飯に合うおかずの試食が行われ、参加者の顔には自然と笑顔が浮かんでいました。



親子で笑顔

各小学校で運動会が開催

5月9日から16日にかけて、町内各小学校で運動会が開催されました。短距離走に始まり親子が参加するレースなどさまざまな競技が行われると、グラウンドには声援が飛び交い、どの会場も大いに盛り上がっていました。



▲千畑小学校



▲六郷小学校
◀仙南小学校



母の日に開催しました 六郷仏教会の花まつり

5月10日に六郷仏教会主催の花まつりが行われ、鮮やかな衣装に身を包んだ46名のお稚児さんたちが市場通り商店街等を練り歩きました。50年以上の歴史がある六郷花まつりは、毎年お釈迦様の生誕を祝い開催されます。稚児行列が通ると沿道ではたくさんの見物客が笑顔で出迎えていました。

今年は母の日の開催となったため、日ごろの感謝をこめて、子どもたちからお母さんたちにカーネーションがプレゼントされました。



第5回 町議会 臨時会

平成27年第5回町議会臨時会が5月7日に開かれました。審議された議案は次のとおりです。



報告・承認・可決された案件

■専決処分事項の報告について(1件)

■専決処分事項の承認を求めることについて(3件)

- ・美郷町税条例等の一部を改正する条例
- ・美郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

・平成26年度美郷町一般会計補正予算第15号
公の施設を能代市が保育を実施する児童に使用させることに関する協議について

美郷町認定こども園を能代市が保育を実施する児童に使用させることについて議決を求め、可決されました。

■平成27年度美郷町一般会計補正予算第2号

美郷町宿泊交流館の外壁および屋根の改修に要する経費の追加や、男性の不妊治療にかかる経費を特定不妊治療助成金の交付対象に追加するなど、歳入歳出予算にそれぞれ2731万2千円を追加し、総額を107億1480万6千円としました。

想像力を耕す

美郷町長 松田知己

風



千畑小学校ドリームトープの清掃開始前に挨拶を述べる松田町長

新聞報道を見るにつけ、「気象変動だけではない、大きな社会変動がきているんじゃないか」と不安になることが最近多くなりました。みなさんはいかがですか。とりわけ、「命」に対する畏敬と「生」に対する感受性、双方の欠如が核心にあると思える事件には、心底、恐怖と不安を感じるころです。

事件背景も犯罪心理も知らぬ者が考えたところで何も解決しませんが、あえて欠如の理由を

考えてみると、素人ながら浮かんでくるのが「想像力」の幼稚さです。自己と他者のバランス感ある成熟した想像力が存在せず、自己中心の独りよがりの想像力しか持ち合わせていない、としか想像できません。

私たちは、成長過程において他者との関係性、例えば両親や家族、友人等との関係によって自己を規定し、その延長線以自己と他者のバランス感を身に付けていくのだらうと思います。そしてその中核に存在しているのが想像力で、問題はその深淺です。当然、深いに越したことはありませんので、深めるための経験等の不足はやはり問題です。そのために、芸術文化の経験は大切に、古より芸術文化が大切にされてきた理由がそこに

あるように思います。

というのも、芸術文化には必ずそこに「人の心」が存在することからです。その心に触れることで人は何かを感じ、考え、結果、知らないうちに想像力は耕され、他者とのバランス感が成熟の方向に向かうのだらうと私は思います。美郷町がこれまで芸術文化に接する機会を意識してきた根底にも、こうした芸術文化の力を信じている部分があります。そしてこのことは、人の集合体である美郷町という地域の風を、必ずや誇り高くするとも思っています。

こうした熱い想いを持って、今月20日から「歌川広重展」を学友館にて開催いたします。交流自治体である栃木県那珂川町の絶大なるご理解とご協力があって実現しました。みなさんには歌川広重と那珂川町のみならずの心にも触れてもらいたいと思います。広重の構図や色彩、描写風俗、そして那珂川町を通じ、必ずや「想像力は耕される」と信じています。